

[成果情報名] ポットマム丁字咲き花色シリーズ5系統の育成

[要 約] 丁字咲きで、9月下旬～10月上旬に開花し、花色シリーズとしての出荷も見込める「静育ポットマム」を5系統育成した。

[キーワード] ポットマム、スプレーギク、交配育種、丁字咲き、花色シリーズ

[担当] 静岡農林技研・育種科

[連絡先] 電話 0538-36-1554、電子メール agriikusyu@pref.shizuoka.lg.jp

[区分] 野菜・花き（花き）

[分類] 技術・普及

[背景・ねらい]

ポットマム（鉢物用スプレーギク）は9月から10月に需要が多く、この時期に花色のシリーズをそろえて出荷できる品種が求められている。このため、コンパクトな草姿で鉢物に適した丁字咲きのポットマム花色シリーズの育成を行う。

[成果の内容・特徴]

1 育成経過

2007年から2009年にかけて丁字咲き系統を中心にスプレーギクの交配を行い、得られた個体を用いて鉢物適性試験、現地適応性試験を実施した。その結果、有望性が認められた5系統「P09-02-02」、「P07-14-01」、「P09-03-04」、「P08-40-01」、「P08-25-01」について、2011年11月に育成を完了し、育成番号「静育ポットマム1号」～「静育ポットマム5号」を付与した。

○「静育ポットマム1号」白（旧系統名：「P09-02-02」）

交配年：2009年、交配組合せ：「03-39-01」×「コイステージ」

○「静育ポットマム2号」黄（旧系統名：「P07-14-01」）

交配年：2007年、交配組合せ：「03-38-01」×「エリアス」

○「静育ポットマム3号」淡ピンク（旧系統名：「P09-03-04」）

交配年：2009年、交配組合せ：「P04-20-01」×「コイアローム」

○「静育ポットマム4号」濃ピンク（旧系統名：「P08-40-01」）

交配年：2008年、交配組合せ：「03-39-01」×「コイハット」

○「静育ポットマム5号」赤（旧系統名：「P08-25-01」）

交配年：2008年、交配組合せ：「03-38-01」×「オレンジ実生」

※種子親×花粉親

2 特性

いずれの系統も、9月下旬から10月上旬に開花し、コンパクトな草姿で花粉の出にくい丁字咲きの系統である（表1、図1）。また、最も開花が早い系統と開花の遅い系統との差が1週間ほどであるため、花色シリーズとしての出荷が見込める。

[成果の活用面・留意点]

1 栽培に当たっては、わい化剤を適切に使用し、特に「静育ポットマム4号」については、草丈の伸びすぎに注意する。

2 4月から5月にかけて発蕾しやすいため、親株段階から夜間の電照により着蕾を防ぐ。

[具体的データ]

表 1 静育ポットマム花色シリーズの生育特性 (2011 年度) ¹⁾

系統	花色	花型	開花日	草丈 (cm)	株張り (cm)	節数	花径 (mm)	花数 ²⁾
静育ポットマム 1 号	白	丁字	9/28	31.7	19.7	19.3	37.2	17.7
静育ポットマム 2 号	黄	丁字	10/4	25.8	17.3	20.2	42.4	13.4
静育ポットマム 3 号	淡ピンク	丁字	9/28	24.0	15.4	23.0	42.4	18.4
静育ポットマム 4 号	濃ピンク	丁字	9/29	36.3	18.5	22.7	44.5	13.2
静育ポットマム 5 号	赤	丁字	10/5	30.4	18.6	24.0	49.4	11.2
コイハット (対照)	オレンジ	デイジー	10/3	48.0	18.8	21.7	61.7	13.0

1) 挿し芽 2011 年 5 月 24 日、定植 6 月 14 日、3.5 号鉢に 1 株/鉢を定植。摘心 6 月 28 日、3 本仕立て、消灯 7 月 4 日、わい化剤 (ビーナイン 200 倍) 処理 7 月 12 日

2) 頂花開花時に花弁に色が現れている花の数



図 1 静育ポットマムシリーズの花型、草姿

[その他]

研究課題名：特産花き新品種の開発研究と有用遺伝子を活用した選抜マーカーの開発研究

予算区分：県単

研究期間：2007～2011 年度

研究担当者：勝岡弘幸、岩崎勇次郎